

## 第10期第3回府中市美術館運営協議会会議録

- 1 会議名 第10期第3回府中市美術館運営協議会
- 2 開催日時 令和元年12月15日（日） 午後2時から
- 3 開催場所 府中市美術館会議室
- 4 出席者 (1) 委員（敬称略・順不同）  
谷矢、米谷、隠岐、寺田、江川、吉田、松浦、松林  
(2) 事務局  
藪野館長、相馬副館長、志賀副館長補佐、尾崎管理係長、  
鎌田学芸係長、武居教育普及担当主査ほか
- 5 議 題 (1) 令和元年度前期美術館関連事業等について  
(2) 諮問事項 「府中市美術館第2期2020年から2039年の  
展望について」
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴者 なし
- 8 発言内容 以下、□は各委員の発言、■は事務局

■では時間となりましたので、始めさせていただきます。本日はお寒い中ご多用のところ出席頂きまして、誠にありがとうございます。進行を務めさせていただきます副館長補佐の志賀と申します。よろしくお願ひします。

今回は運営協議会の予定をご説明させていただきます。第10期運営協議会は、昨年12月19日、第1回目を開催いたしました。2回目が本年9月1日に開催されております。今回は第3回となります。

今回は前回に引き続き議題の審議をしていただきますが、答申案の素案を作成いたします。それを年明け令和2年5月6月ごろに小委員会で答申をまとめさせていただきます、各委員に郵送させていただきます。6、7月ごろ調整頂き、令和2年夏8月ごろに第4回運営協議会を開催し、承認頂きましたら答申提出と段取りになります。

続きまして次第に移らせていただきます。委員長ご欠席となりました。本日は副委員長に進行をおねがいましたと思います。

□会長が、都合で来られないという事で代役副委員長ですので、司会を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。気楽にフリートーキングになると思います。ご自由に発言いただければと思います。

■寒い中ありがとうございます。特に12月とっても忙しい中、ありがとうございます。昨日から、ちょうど青木野枝さんの展覧会、大きな美術館としては、若林さんの立体的な作品が出ていましたけど7メートルの高さのものであるとか、あるいは鉄を組みまして作るなんていう事、経験なかったことで、バーナーを使いながら組み立てていって、3月1日に終わりますと、溶接できて元に戻すといったそういう作業をするそうで、一定の時期しか生きてない、二度と同じものは作れないというものです。

それから高島アトリエで制作過程のものがあります。

12月1日まで、「おかえりなさい美しき明治」という展覧会がございまして、好評で宮田長官がこられて、日本博の文化庁の中で指定いただきますし、次の展覧会に文化庁として押していく展覧会に加えていくとお話しになっています。

展覧会の初日に出席して、府中の市民がレセプションに参加してみて、ほかの公立美術館にはないことは、市長、議員が沢山来られて例がないこと。市民と議員と市長さん、都教育庁、みんな一緒にやっているのは印象に残った、という話を伺いました。これもひとえに公立美術館ではありますけども、皆さんが丁寧に押していただいた成果だと思います。本当に感謝申し上げます。

(本日の配布資料の確認)

■尚 本日の出席 成立となっております ご報告申し上げます。

■ではここから、会議を始めたいと思います。

まず、令和元年 前期美術館関連事業について事務局から報告説明します。

(展覧会事業について)

■今年度上半期の展覧会事業についてご報告いたします。今年度年間の事業としては企画展を3本、所蔵品展を1本、常設展覧会及び常設展示室、牛島記念館での作品の公開をしております。

今年度事業としての特別展5月25日から7月7日まで、棟方志功展を開催し、20点を超える棟方志功の連作大作を公開しました。期間中は15,000人余り来館者にお越しいただきました。

夏休み期間中7月20日から9月1日まで、親子が楽しめる所蔵品の展覧会「ばれたん夢の世界」を開催しました。作品の紹介だけでなく、工作やアトラクション的な展示物ディスプレイも含め、こちらの方は期間中10,000人の来館者がありました。

続いて9月14日から12月1日まで、この期間、「おかえり美しき明治」展覧会開催しています。この明治期の西洋の表現を取り入れた油彩画、水彩画素描等200点を超える作品を前期後期に分けて紹介した展覧会です。新聞紙上で大きくとりあげられたり、非常に幅広い年齢層特に高齢者層から好評頂いてきて、会期中16,000人を超える来館者にきていただいています。

現在、開催中の展覧会は12月14日からスタートし、3月1日まで「青木野枝展」を開催しております。青木野枝さんは現在活躍中の女性の彫刻家で、武蔵野美術大学を卒業し、現在アトリエが埼玉県飯能市で、府中多摩地域の近隣地域ゆかりの全国的な評価を受けている彫刻家です。

鉄を素材とした作品、また近年では石膏を素材とした作品を作っていて、今回の展覧会では8点の巨大な作品を美術館の企画展示室、さらには玄関入って、すぐのところにある高さ8メートルの作品など館内全域を使って新作展を実施しています。

昨日、青木野枝さん作家本人が来て、トークショーがおこなわれたのですが作家のファンの方が来ておまして、80名ぐらいのファンの方が熱心にお話を聞いて頂きました。また取材等の申込も非常に多くありますので、現在活躍中の作家の展覧会を府中美術館で開催するということもあって、大きな注目を集めています。展覧会の実施状況については以上です。

(教育事業について)

■今年度前半の教育事業について、1つ目は公開授業です。公開制作の方では、3人の作家を取り上げる事になっています。3人目の公開制作が昨日から始まっています。

内容を紹介しますと、1人目は、4月13日から7月7日まで、原田いくさんという若手の画家で、CGを使っての風景、アクリル絵の具で絵画に起こす複雑な趣向を使っていますが、新しい感覚の公開制作を紹介しています。

2人目は、7月20日から12月1日まで、山口啓介さんという画家の方の公開制作です。山口さんは版画で知られていて当館に所蔵品があり、常設展でも紹介してきました。

3人目の公開制作は、77回目になりますが、高島ひでおさんで、10月4日から3月1日までの予定で、現在行っています。府中市で生まれ又育ち府中市に暮らしている彫刻家です。陶芸の手法、ユニークな造形でいま注目をされている新進の作家です。

公開制作につきましては、学校への作家派遣を行いまして、山口啓介さんが府中第三小学校4年生を対象に行いました。一月には高島さんで、白糸台小学校6年生の三クラスを対象に行いました。

続きまして二つ目、毎月第一土曜日の通常プログラム、最終土曜日のプログラムを順調に行ってきました。

3つ目は美術鑑賞教室です。小学校につきまして、22校あるうち14校が終了してまして、棟方志功展の鑑賞を行いました。

中学校につきましては、11校ありますが、夏休みの時間中やっていました。教育関連授業以上です。

(施設関係について)

■今年度特別予算がついた修繕改修工事について、報告させていただきます。2階のトイレについて、男子トイレの和式便器1つと女子便器2つを洋式化して、12月13日金曜日に竣工しました

あわせて1階の「だれでもトイレ」の大型ベッドの設置とオストメイトの設置をし、12月13日に竣工しております

空調設備の蒸気ボイラ温水ヒータの蒸気ボイラの方を交換修理し、9月13日に竣工しております。温水ヒータの方は「美しき明治」展の終了後に交換に入りまして、12月13日にトイレ工事と合わせて竣工しております。トイレ工事と「だれでもトイレ」の方の費用が616万円、蒸気ボイラーが16,000万で竣工しております。以上です

■前期まで事業や設備等更新等についての事務局からの説明で、何かご質問やわからないことはございますか。

後期の説明は次回ですか。分量がつかめない。

一階で本を閲覧できるのですが、どんな利用状況になっているのですか。関連した美術館のなかでの業務はどうなっているのですか？

■前期4月から今日までの事業報告をさせていただきました。前期後期をここでという事はございません。今日までという事です。市役所の流れですけども、

予算を要求しております、議会で承認されると、正式に来年度事業で確定承認します。二月位に年間スケジュールを出せるように準備を進めています。

来年度の事業ですけれども、基本的には美術館のショップは、マイブックサービスというところが委託販売しております。またリサーチというところに事業委託をしています。

当館の販売物を売ってクオリーティを保ちながら、順次対処して頂く、魅力ある、お金儲けというのではなくて、所蔵品を楽しんでいただく、美術を楽しんでいただく優れた書籍印刷物を調達できる、そういった会社をお願いしております。

□展示事業と教育普及事業と販売、環境事業が主な仕事ということですね。わかりました。

■老朽化について、20年目からの10年間を考えると、他館では30年目に大きな改修工事があります。これからは運営だけではなく、施設面も視野に入れるべきかと思っておりますので、報告させていただきます。

□図書に関しての事業というのは、どうかかわりになるのですか？ 展示があるとき、人が集まるわけですね。集まるだけでなく、儲けにはなるわけではなく閲覧が可能というだけでは、事業にはならないわけですか？

■美術図書室は、現在4万冊を保持しています。展覧会準備のために必要ですし、雑誌なども基本的なものも置いておく必要があります。それは学芸員の為だけでなく、一般からの閲覧要請があったときに、すぐ本を出せ、学芸員の資料というだけでなく、一般に公開するために美術図書室はあります。多摩地域ではここだけです。

横浜は素晴らしいものがあります。あと美術大学は、中の人だけ用になりますので、一般の方が美術図書を見れるのは、府中が大きな規模の方になるのではないのでしょうか。

□担当は、学芸員になるのですか。

■司書を置くのが、本来かと思いますが、受付に業務を委託しております。図書館なみの本の配列ではなく、美術館として使いやすい、お客様に瞬時に本を提供できるように、カスタマイズしながら運営しております。

利用状況は入館者数には入れていないですが、日々カウントしています。もう

一つのくつろぐ場所になっています。うちは授乳室がないので、図書室を利用しています。無料です。コピーは有料です。実際に本を手にとって頂きたいと思います。

閉架で雑誌類がそろっています。研究できる場所になっています。武蔵美、多摩美とかに匹敵できます。資料としては、いい資料です。

□作品の保管にしては、事業をお願いしているのですか。

■ケースの破損とか、進行するとか、修復に出すとかは、学芸員の方で対応しています。日々のケアは学芸員。委託というのは、直すとなれば、修理屋さんですが、日々のケアは学芸員が行っております。

□一階に収蔵庫があるんですね？ 川崎市民ミュージアムが水浸しになりましたが、この辺り大丈夫ですか？

■当館は、多摩川から比べると、だいぶ高い位置にあります。建築のコンセプトとして、おにぎりの梅干しのような場所に、収蔵庫を置きました。収蔵庫が地下にある館が多いですが、湿気が来ます。ルーブルなどは、地下で地下も多い。当館は、水害は大丈夫だと思います。ハザードマップを見ても大丈夫です。

□多摩川は海拔 30 メートル。津波も大丈夫ですね？ それに足す 10 メートル。

□トイレの改修を感謝しています。2 階のトイレ、早速利用しました。友人でオストメイトの方がいるのですが、喜んでいました。2 階のトイレ、展覧会の時、混んで並ぶ事もあるので増えてよかったですと思います。

□私もよく来させていただくのですが。トイレのことなんですが、特別な予算でなくて本来すべき事です。本来は公共性の美術館ですから、堂々として主張していい、要求していいことではないか。「特別な予算を頂いたから、作りました」そういう発想でなくてもいいような気がしました。

■おっしゃる通りですが、役所というのは去年と違うことは、全て特別という事になります。ようやく予算が付いたので、改修がされた、という表現になってしまいました。最優先には、進まなかったということです。

全部、洋式ですか？

■1階のトイレは、まだです。当時は洋式トイレが嫌だという人が多かったです。  
コンサートホールは和式が多いです。変えてほしいです。東京文化会館とか。  
高齢化すると、膝が痛くて座れないですし。変えてほしいと思います。

改めて、来年要求してくださいね。

改修したおかげで、移動しやすくなった、ということがあったと思います。

■利用者の立場から、どんどん言ってくれた方がやりやすいです。

答申に入れておいた方がいいですか？

充実した図書の内容を、パソコンで検索できるものか、そういう風に公開されていますか？

■市のシステムとは切り離しています。美術図書は高額であるし、図版が切り取られてしまうと、いかんともしがたい。古い本と言いながらも、高価な本もあるので、ここだけで見るとを条件に、学芸資料を貸していくことです。

何があるか、雑誌だったら何号から何号まであるか、パソコンでは見られる状態ではないです。

■美術館の立場で申し上げると、市のネットで上げると、当然、同じような利用の仕方をする人が増えてしまう。「市の財産だから貸して」となったときに、美術書というのは、切り離して、「いつでも来れば見られる。専門の司書が検索して、お出しします。自分で検索も可能で、目録もデータ管理しています」ということになります。

寄贈したものとか、購入したものとか、管理しています。一般の業務として受付にお願いしています。

基地跡地の利用について、「駐車場の利用が決まった」とありましたが、広報にアイデアが出ていて、市民としては、「文化エリアの充実と美術館との連携」で、これから活動が活発になっていくのではないか、という思いもあって、進めていってほしいです。進捗状況はどうですか？

■ 私たちも強く望んでいます。歩道の部分は来年の3月に完成します。施設に関しては、先が読めない状況です。入り組んだ土地でもありますので、住民とのすり合わせ非常に難しい問題がありますし、駐車場が離れているのは致命的ですが、希望しております。答申にも希望を載せてほしいです。

□ 時間が経ちましたが、前期の答申について、いろいろ皆さんから意見が出たんですけど、どの程度、実現するのか、しないのか、進んでいるのか、事務局の方から説明をお願いします。

■ 「企画展は、様々なジャンルの対応をしてほしい」ということでございますが、来年度も自主企画で進める、「美しき明治展」など多彩なものになっています。

「図録の売り切れが無いように」ということでございますが、「へそ曲がり展」では一般書籍化し、「美しき明治展」では印刷の協力で、それから「青木野枝展」についても、一般書籍化することで、図録の売り切れがないようにします。しかし、これでは歳入にはならず、売上にはなりません。「売れるのに残念だね」というのは課題です。

「魅力あるワークショップ、さらなる子供とのかかわり」ということですが、「美術館だけでなく、ワークショップだけでなく、様々な場所で展開してほしい」ということですので、現在、作家が市内の学校でワークショップを行うことを、今後も続けて展開していきます。

「展示室内での撮影制限」についてですが、作業空間の保持、趣旨で賛同いただきましたが、撮影スポットを設けました。「青木野枝展」のエントランスの作品については、携帯電話の使用について禁止しております。

「公園事業」は、連携を深めていく必要があると思います。

「基地跡地の駐車場確保」は希望を出し、期待し進めていきたいと思います。

「アンケート等による幅広い前売り券の上昇」という事ですが、資料2のとおり進めているという事になります。

「施設の老朽化対策」として、天井改修で耐震対応をしました。またエントランスの明るさを改善しました。トイレ洋式化やオストメイトが進んでおります。

「他の美術館と同様の魅力ある喫茶店の改善」については、実施可能な対応を計画中です。生涯学習センター芸術劇場、美術館でも募集をかけても、見つからなかったのので、レストラン京王に話をした経緯がありました。しかしご意見も出てますし、ただあちらも予算の問題がありますし。予算であったり、メニューについても、関連の事業所から工夫をしていただいているところですが、いい改善ができていないとも思えない状況です。

公募型プロポーザル方式を使って、声掛けして、「美術館の運営をしませんか」とやろうとしています。具体的にいつくらいにやるのかは、決まっていないのですが、おおかた募集要項を作りまして、早ければ来年1月位に公表して、手を挙げてもらいたい、と思います。ただ実際に手を挙げてくれるかは、わからないのですが。事業者に声をかけたり、さっぐっているような状況です。

一般的に公募するんですか？

■広報やホームページに載せていくつもりです。

その場合、今の喫茶室では、ちゃんとしたものが出せないなので、設備投資して改築ができるのか、によって応募の違いはあるのではないですか？

■現状の設備を使っていくしかないです。改築したい、といっても予算が通らず、現状でやれるところを探すという事になってしまいます。その後、予算的に余裕が出来たら予算要求を出して変えていきます。

美術館は敷地があります。世田谷美術館は、独立したレストランでやっています。見た後で食事をしたり、休んだりしたいんですよ。そこは、こちらのニーズに合うようにしないと。閉館しても入場できるようにしないと。府中公園にはレストランがないから、逆に言えば、よければ繁盛するんじゃないか。

■トイレがないと、保健所の許可が下りないんです。美術館が閉館しても、トイレが使える環境なら、8時ころまで可能になってくるのかな、と思っています。展示替えの休館日にも、利用が可能になってくるのかな、と思います。

別個に作るか、美術館と廊下でつなぐとか。

■ショップ、カフェともに、具体的に10年、20年と充実させていこう、という傾向にあります。

はけの森美術館、小金井に別館がカフェになっていて、特製カレーライスを出していて、混んでいて、一時間待って食べてきました。カレーセット1,400円。おいしかったんです。品数を絞って出せば、ニーズがあるんじゃないですか。そのカレーは、なかむらけんいちさんの作家の家庭で出していたカレー風のカレーでやっていましたから。年間20万にも来る美術館なら、結構ニーズは大き

いと思います。

ネットで和歌山県立近代美術館を見ていましたら、カフェレストランがあって、名前が「ブリングブックストア」というんです。棚に美術館系の本がたくさんあって、その横がレストランで、テーブルがあって、繁盛している。この和歌山県立美術館は、年間50,000人の入館者数なんですね。クオリティが高いとやっつけていける。夜の活用もやっつけているようです。

どうして和歌山県立美術館を調べたかといいますと、30年ぐらい前にJALの国際便の機内誌で、帰り道という芸大の先生の稗田かずさんの作品が出ていて、一度みたいなと思っていて、行ってないけど、レストランが出ていました。

地方の中核都市の美術館をベンチマーキングしていると、参考になることがあるんじゃないかな。多摩地区の中核的な美術館として、和歌山県立美術館とか豊田市美術館とか、ベンチマーキングすると、いろいろヒントがあるんじゃないでしょうか。

世田谷美術館では、立地からいうと美術展があるなら、上野にいこうと思ってしまうので、多摩地区から上野は遠い、という立地もあるので、地方都市の美術館として、ここはパフォーマンスが非常にいいなとおもいます。一般的に年間入館者数50,000人なら、実数は10万、人口26万、世田谷90万人で数万ですよね。

□基地跡地にレストランを建ててもらえばいいですよ。駐車場が近くて。

□ロビーが空いていますよね。あまり人がいない。和歌山県立美術館の図書室とカフェとを一体化したロビーを使っています。

いまの喫茶室は狭いので、1階フロアをレストラン化するような発想を切り替えて、「何のために美術館があるんだ」ということで、「市民のために憩われる場所」という事で、ロビーをカフェ化するのはどうですか？

ロビーがどれだけ喜ばれているのか、新しい建物を作らなくてもサービスが向上できます。お役所の発想では出てこないです。

カフェに行く前に歩きますよね。カフェの入口が手前にあれば、広いスペースが取れる。代々木の新国立もそうになっていますよね。コンコースを利用して、今の建物を変えないという発想です。

■今の建物を変えずに、という意見です。貴重なご意見で、美術館員としてもプランニング中です。

どんな喫茶店が望ましいのか。和歌山は行きました。雰囲気があります。

どう実現するのか、レベルをどこにするのか、難しい。安いものを提供するの  
いいかと思ったり、美術館らしいサービスがないじゃないか、という事じゃない  
かと思います。

□「外側の池のところが喫茶店だったらよかったのに」と、女心としては外から  
見えるのが素敵なカフェなのだと思います。

小浅間山を削って席数をふやして、家族で美術館に来た人とか、幼稚園生がお  
弁当を食べられるよう、そういう場所として使えたらいいな、と思います。

お金がかからない形で、外回路を使って、テントを使ったり、暗くなった時に  
8時、9時くらいまで利用できる、おいしいものがあれば、明かりがついていて  
外から見える、そういうのも美術館としても必要なんじゃないかな。おいしいも  
のがあれば、2度、3度来ちゃいますよね。

□飯の話は尽きませんが、浅間山を崩す最初にあったプランに固執すること  
はないと思います。建設費用を出してもいいから、魅力的なものにしていく必要  
があると思います。

□前の委員会から、何度も何度も、そうだ、そうだと、こっちも言っているん  
けども、動かないというね。なんだろうね。次の委員会で、是非でお願いしたい  
と思います。

□府中の森芸術劇場は、レストランとしてはまあまあ。あそこと同じものをつ  
くっても共倒れという事があるので、小粒でもいいから、特色あるレストラン、お  
いしいドリンクとか、安いとか、ウエイトをどこに置くか。

□ホームページの開始については予算計上している、ということですが、どこ  
までできるのですか。

■京王バス案内で、府中市美術館のもよりを案内し、集客しております。40万  
円です。

□美術館とすれば、一番いいのに。

■SNSの活用については、ツイッターについては検討しています。ホームペ  
ージの開始についても。

近隣ネットワークについては、はげの森美術館と武者小路美術館と三館でス

タンブラリーを実施しています。

東京工学院専門学校、東京外国語大学との大学連携ですが、個人では2,500円で年間何度でも利用できます。団体会員で2,000円。学校法人は、一校50万円で、学生職員は無料で、大学の教材として使って頂くと、若い方の来館を進めるため、10月から開始です。反応として、若い方が大学のレポートのために来ています。

作品購入について、魅力ある存在感ある美術館として、8年間の空白がありましたけれど。

■ 2億円で作品のストックを進めています。来年度、調査を進めながら、府中市のコレクション充実させていただきます。

いつまで作品購入が続くのですか。

■ 100年ひとくくり、立派なものを仕上げ、府中美術館で一つのものをくみ上げていこう、と思うので、一つ一つブロックを組み込み進めたいと思います。

前回の答申で、どうなっているのか、というので、次の新しい答申を出さなくてはならないです。引き続きフリートーキングで、9月1日の補足でもいいのでお願いします。

「おにぎりの真ん中にあるほうがいい」と聞いて、考えて作っているのだな、と思いました。

子供たちは、和式トイレを使ったことがない。喫茶室は利用している方です。近隣に何もないから、あそこを利用する感じがあります。あそこじゃないと休めないなので、何かしらの改善は必要と思います。

私は、孫と遊びましたよ。小浅間山は、美術館のものだから何かはできる。アネックスを作ることができる。居酒屋でもいい。

教育関係に関して、現在の状況の話あったところについて、関連づけられて実施されているのは、わかりました。アンケート集計により、来館は、チラシポスター紙媒体が多い。

ただ子供たちの教育の道具という形では、インターネットを活用して、小学校では、各学校で40台パソコンが導入され、来年度から教科書のQRコード読み

込むと情報が入って、教育現場に入ってくるんですね。ぜひ具体的に活動の中身がわかるといいので、美術館でも博物館でも行ってみようという入口を作っています。

ワークショップでも保護者は感心を持っているのが大前提で、間口を広げるには、お金を投入してゲームに行くよりも、ワークショップに行つて何か作りたい。紙媒体も必要だが、現代の子供たちもネット活用が効果的です。

□武者小路記念館、はけの森とスタンプラリーなんですけど、利用状況と具体的な効果はいかがですか？

■スタンプラリーを完走した方は、そんなに多いわけではありません。ただチラシのはけは、いいです。「はけの森と府中は近いんだ」、「実篤記念館は近いんだ」というチラシの効果はあったと思います。あと仲間意識ができたのは、効果あったと思います。

アンケート集計は、半数 38,000 人程度を対象にし、回答いただいたのは 889 点。これは 4 月から 10 月展覧会毎です。市内、市外の若い方が来ないです。記載がなかったのは外しました。154 対 312、二倍近い市外の方がこられています。しかも 19 歳以下をまとめているので、お子さんの落書き程度のももありまして、面白かったのとかわいいです。

19 歳以下大学生の意見が聞けない。外して 88 対 274。年齢が書いてないものも外しています。子供がアンケート書いたのが多いです。20 代、30 代、40 代、80 代を超える方も居られる。残念ながら市内の若い方が忙しい。50 代、60 代多い、高齢者が多いということです。この辺に念頭にしなければいけないです。

展覧会についての集計ですが、88 件のうち 78 件は非常に良い、相当の方が満足して書いている。抗議が少なく、市内でも非常に良いか、良い動機はチラシみた、ポスターを見た、で市外でも相当数非常に多いです。紙を見た、チラシを見たが、市内に非常に多い。

市外は「テレビを見た」、市内では「テレビを見た」というのは、反応がないです。遠くからでもテレビを見て、新聞を見て、市内の方は、ポスターチラシ、どこが良かったか、書いてくれた人もいます。テレビは、江戸展なんか、ぶらぶら美術館の常連さんです。かわいい展の時は一般ニュース、社会的なニュースは爆発的に反響があります。年代の若い子たちは、何を見るか、展覧会毎というのはあると思いますが、注視していこうと思います。

随時アンケートを置いてあります。

市外が多いのはびっくりですよ。

市外が多いのは普通ですか？

■小学生が多いのは、お母さんと一緒の人がアンケートを書いています。

入館者の6割ぐらい市内ですか。子供はかなり多い。学生とか市内が多い。

青木野枝展で見させていただいて、それをやっているビデオで見られたらいいなあ。

■記録はとっています。

この作品はこうやって組み上げられんだ、と見られるといいなあ。QRコードで、スマホでその場で見られるといいなあ。作られていく、あるいは解体されていく、見せていただくのは興味津々です。プロでなくていいので。

青木野枝さんの他の会場での展示風景が、ユーチューブに投稿したのがあります。どうやって、ここに入ってきたのかな、と想像していたら、その場で組み立てていると知って、二度とこの作品はないんだと。じゃあ、それをわかるようにしたほうがいいと。

横浜のビエンナーレに行ったときに、正面に救命胴衣のカラフルなものがあり、単なる装飾かな、と想像して館員さんに聞くと、「これは今ヨーロッパに難民が押し寄せている人が、海に投げ捨てていった救命胴衣だ」と話されて、「それどうして言ってくれないの」と言ったんです。そこを教えてくださいといけない。そこに至るまでのプロセス私は興味があるんですけど。そこを教えてくださいと思います。

■作家が嫌がる事もあります。

カメラマンさんが、青木さんを追っかけて取っています。作家として作品として外に出ていく。カメラマンさんの追求だという感じがあって、ネットは怖く、ツイッターもある。お許しいただければ、動画解説を考えたらどうですか。

■担当に話してみます。

□QRコードをかざすと、解説動画が出るのは、博物館とかあります。この大きなものは、こうして成立するのね、というのが見たいです。

溶接をして、展示を終わって解体するとき含め、彫刻が生まれて、音楽会と同じように消えていくのを。

□アンスタレーション、インスタレーションということですよ。子供たちは興味があると思います。

□青木さんの今回は、新作。昔のものを見たい。画廊の中は、もっと小さいものを作っています。

□昨日のギャラリートークは面白かった。なぜ霧という概念が入っているのか。セリフは取ってないですか。ビデオで見たい。展示室に入りきれないくらいで、声も届かない。

■昨日の入館者数は288人。質問が鋭くて、クオリティが高いです。例えば、「錆などは、どうしますか」と。専門的に丁寧に説明しておられました。溶断するとか、「作っていくときに、上って作るんだ」というお話を前例として、模型があり、デッサンがある。

□昨日来ないと、見られないのは、不公平だよ。

□搬入するときに、重い鉄の棒をもっていた。終わった後でも、本人が良ければビデオを編集して、皆さんに見せるというのは、クレームはつかないんじゃないか。

■作家さんがどのような場面を見せたいかという、作家さんと鑑賞者をつなげたい、と思っています。美術館としては、鑑賞者を尊重したいというのは、あるんですが、作家さんのコンセプトをみないといけない。青木さんの作品は、それぞれ会場に合わせて組み上げていますので、ご本人の意識は、あくまでも彫刻家です。インスタレーションなら、現場を見せる、ちょこっとだけ入って、すぐに本物を見てほしい。彫刻家である全般的なイメージで言いますと、アトリエに入れない。インスタレーションで、組み上げている現場で見せる、コンセプトにあった紹介を検討していきたいと思っています。

制作のドキュメントだとか、青木さんのインタビュー、展覧会の前に作品集という形で出版して美術館の売店でも販売しております。府中市の美術館の作品

の記録というものは、一昨日一段落した後に写真を撮って、明日とって一月下旬に出版する予定です。

動画の撮影は、紹介する以前に記録をとっておかないといけませんが、ビデオカメラが10年ぐらい前のもので買ってもらえません。来年は公開制作を考えてる中で、必要だと進めています。

外国では、ほんのショート動画を見せると宣伝になる。他の展覧会も、ほんのショート動画をHPにのせると宣伝になると思います。

作家性というか、本物を見てほしい。ビデオでなく、見てほしいというのがあります。

□作家を信じないけれど、作品は信じる。作品は大事です。作家以上の微妙な問題です。

□一つは学芸員志賀さんの定年を聞きました。カラーがどうなっていくのでしょうか。資産としてどう受け継がれていくのでしょうか。

■アーカイブの問題で作品を集めて行こうとしています。お金が必要です。

□私の父の作品があり、市内のは、どうやって作品の保管ができないということ。私の周りで不安と問題をもっています。市民の中に保管した方が、資産になります。資産になれば市民と一体になっていくのではないのでしょうか。大学生とか来ないけど、若い人にも応募してもらって、府中市美術鑑賞を設定して、若い人に応募してもらって、優秀なのは買い上げるのはどうでしょうか。考えていただきたいです。

□企業の美術品を買い、良いものを持っていて、どうしようかと思えます。「どこかへ売る前に、美術館で買いますよ」と。

■公募展について、藪野館長になられてから好評で、もっと発展させていただきたい、と思っております。

また館長補佐として新しい仕事があり、学芸員は意欲的で愉快地にやっています。市立の方が生き生きしています。

自主企画で、こんなにできてるのが、すばらしいと思います。ここでしか、やれなかった展覧会を続けていける様、市長が駆けつけてくれました。

また学芸員があまり変わりません。居心地がいいのか、やりがいがあるのか。学芸員も多い方です。

レストラン、喫茶店はどうですか、とアンケート入れたらどうですか。

府中はギャンブルイメージが強い。美術館が活動して得る収入は少ないけれど、PR効果金額換算すると大きい。これくらい生産性があるんですよ、と市民として誇りに思うような施設だと思います

■ 10,000点の収蔵品で和歌山美術館は、目玉の作品が多く、1967年、開館です。府中市美術館は19年で収蔵品、作品収集が、課題として物足りない。企画展をするにも、収蔵品があれば企画展もやりやすいです。

この先20年を見据えるとき、入れ込んでほしい、と思います。

貴重なご意見沢山出て、議題は終わります。

■ 今後の日程として、小委員会で、答申案素案を作成します。令和2年5月か6月に答申案をまとめ、第4回運営委員会で承認いただけるよう、この場で小委員会委員を3人か4人必要です。

前は何人ですか。

■ 会長、副会長入れてあと2人です。小委員会は一回集まってから、日程につきましては、後日連絡します。来年8月に全体会議を、8月1・2・8・9・10のうちに、早めに決めたいと思います。

長時間お疲れさまでした。実現できるものを一步でも進めたい。ありがとうございました。